

公共事業再評価調書（第2回再評価）

所 管 課 : 道路街路課

1 事業概要 (整備目的)	事業名 : 都市計画道路3・2・18号城間前田線街路事業		前再評価年度 : 令和2年度		
	事業種別 : 街路事業	事業主体 : 沖縄県	(H24 ~ R7)		
	事業箇所 : 浦添市	根拠法令 : 都市計画法	事業期間 : H24 ~ R13		
	総事業費(百万円) : (11,624) 11,996	費用内訳 : 補助 9/10	事業量 : L=720m W=34m		
1-2 前再評価以降の計画変更	事業期間及び事業費の変更を行った。				
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間(5年)を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他()				
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他() ・一括交付金が減額傾向にあり、予算の確保が困難なため。				
4 事業の進捗状況 (R7. 3末時点)	項 目	事業費(百万円)	整備延長 (m)	用地取得(千㎡)	用地取得(筆)
	計 画	11,996	720	20.0	124
	実施済	11,096	666	20.0	124
	率	92.5%	92.5%	100.0%	100.0%
4-2 前再評価以降の主な進捗	・オフランプの擁壁整備や一部歩道等の整備を行った。				
5 事業効果の評価指標 (検討年 50年) (基準年R7) (単位: 百万円)	① 走行時間短縮	51,843	① 事業費	11,173	
	② 走行経費低減	4,507	② 維持管理費	150	
	③ 交通事故減少	700			
	総便益	57,050	総費用	11,323	
	基準年換算(B)	20,204	基準年換算(C)	17,792	
	費用便益比 (B/C) = 20204 / 17792 = 1.1				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済 : ・令和5年8月よりモノレール車輛の3両化が運用開始した。 ・浦添市、西原町では土地区画整理事業が推進されている。 ② 地元・自治体 : 特になし。 ③ 利害関係者 : 特になし。				
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など : 当該路線は、浦添市役所、浦添小学校、浦添中学校等へのアクセス道路、東西横断道路として利用されており、朝夕のラッシュ時の混雑が日常化しているため主要渋滞箇所となっている。 また、沖縄都市モノレール延長区間の終点が近接し、早期4車線整備による交通容量の拡大、円滑な連結が求められている。また、学校施設が近接することから、歩道を拡幅整備し、歩行者の安全を確保する必要がある。 ② 事業の効率性(代替案等の可能性やコスト縮減) : 当該事業はハシゴ道路として位置づけられている浦添西原線の一部を整備するものである。浦添西原線では、街路事業及び道路事業が推進されており、事業効果発現のため一体的な整備が必要である。 ③ 事業効果の発現状況 : 沖縄都市モノレール延長整備事業や浦添西原線バイパスと連携して暫定供用を行っている。また、歩道が拡幅された箇所に関しては、安全な歩行空間が確保されている。				
8 今後の対応・見直し	① 事業計画等 : 現計画のとおり事業を進め、令和13年度の完成を目指す。 ② 対住民関係 : 特になし。 ③ 執行体制等 : 現体制で取り組む。				
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続(現計画) <input type="checkbox"/> ② 事業継続(見直し) <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止				
10 その他 (前再評価での主な意見等)	特になし。				

* 1事業概要 の上段()は前再評価時点の計画